

今週のトピック解説

「レジャー白書2010」“巣ごもり疲れ”で外出希望が増える!?

(財)日本生産性本部から「レジャー白書2010」が発表された。前年同様に“巣ごもり消費”に関連する余暇活動が人気だが、一部では“巣ごもり疲れ”の傾向も出てきているようだ。

余暇活動の参加人口をみると、一昨年来から「外食(日常的なものは除く)」、「国内観光旅行(避暑、避寒、温泉など)」、「ドライブ」が上位3位を占めていることは変わっていない。

ただ、09年度は「ドライブ」が1位となった。「ドライブ」が1位になったのは調査以来初めてのことだという。これは政権が民主党に変わって、高速道路料金値下げの導入が大きく関係しているようだ。

白書では「話題を呼んだ高速道路料金値下げが追い風となり、参加人口も伸びた」としている。

参加人口の上位20位を部門別にみると、とくに趣味・創作部門で順位や参加人口の伸びが高い種目が出てきている。なかでも、「映画(テレビを除く)」、「音楽鑑賞」、「ビデオ鑑賞」

賞などともに、「写真の制作」が18位と初めて上位20位内にランクインした。

また観光・行楽系レジャーでは「動物園、植物園、水族館、博物館」が10位から6位へ、「ピクニック、ハイキング、野外散歩」が17位から13位へ順位を上げた。反対に順位を落としたのが「遊園地」で、「安・近・短」の行楽が大きく伸ばしたかたちになる。

またお金がかからない日常型レジャーとしては、市民農園などの「園芸、庭いじり」、や「体操(器具を使わないもの)」が人口・順位とも伸ばしている。

この一方で、将来の「参加希望率」をしてみると、「国内観光旅行」、「ドライブ」、「海外旅行」、「動物園～」など外出系のレジャー希望がおおく、反対に「ビデオ鑑賞」などは前年に比べて順位を下げている。同財団では「巣ごもり疲れが見受けられ、より外へのレジャーを希望している様子がうかがえる」としている。

2009年の余暇活動(08年との比較)

2008年

順位	余暇活動種目	万人
1	外食(日常的なものを除く)	7,370
2	国内観光旅行(避暑、避寒、温泉など)	6,020
3	ドライブ	5,140
4	宝くじ	4,560
5	パソコン(ゲーム、趣味、通信など)	4,470
6	カラオケ	4,430
7	ビデオの鑑賞(レンタルを含む)	4,400
8	映画(テレビは除く)	4,140
9	動物園、植物園、水族館、博物館	4,030
10	音楽鑑賞(CD、レコード、テープ、FMなど)	3,960
11	バー、スナック、パブ、飲み屋	3,310
12	テレビゲーム(家庭での)	3,300
13	園芸、庭いじり	3,260
14	トランプ、オセロ、カルタ、花札など	2,910
15	遊園地	2,780
16	ジョギング、マラソン	2,550
17	ピクニック、ハイキング、野外散歩	2,470
18	音楽会、コンサートなど	2,420
19	ボウリング	2,350
20	帰省旅行	2,340

2009年

順位	余暇活動種目	万人
1	ドライブ	6,740
2	国内観光旅行(避暑、避寒、温泉など)	6,390
3	外食(日常的なものを除く)	6,370
4	映画(テレビは除く)	5,260
5	音楽鑑賞(CD、レコード、テープ、FMなど)	5,150
6	動物園、植物園、水族館、博物館	5,040
7	ビデオの鑑賞(レンタルを含む)	5,010
8	カラオケ	5,000
9	宝くじ	4,950
10	テレビゲーム(家庭での)	4,720
11	トランプ、オセロ、カルタ、花札など	4,440
12	園芸、庭いじり	4,030
13	ピクニック、ハイキング、野外散歩	3,690
14	音楽会、コンサートなど	3,560
15	バー、スナック、パブ、飲み屋	3,400
16	学習、調べもの	3,390
17	遊園地	3,160
18	写真の制作	3,120
19	催し物、博覧会	3,070
20	体操(器具を使わないもの)	2,950

今週の主なニュース

7|30



8|5

- 国土交通省 平成22年度 木のいえ整備促進事業の補助金交付申請受付期間を延長
- 積水ハウス サステナブルデザイン ラボラトリーがキッズデザイン賞において優秀賞を受賞
- 大和小田急建設 企画型賃貸マンションの新品「DO Project」を発売

- TOTO キッズデザイン賞で「少子化対策担当大臣賞」を受賞
- ノーリツ 第2四半期の業績は増収増益に 国内温水空調機器が好調
- 三協立山アルミ 樹脂製内窓に「浴室タイプ」を発売